

一、漢字の読み

次の 線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

1

工夫をこらした良い作品ばかりだ。

答え

2

説明を聞いて「なるほど」と納得した。

答え

3

山の雪がとけて河川が増水している。

答え

4

とても美しいお辞儀の姿。

答え

お

5

和やかな雰囲気です。

答え

やかな

6

長い年月を経る。

答え

る

7

長く受け継がれた伝統文化。

答え

がれた

二、漢字の書き

次の 線部の言葉を漢字で書きなさい。

1

キョダイな岩が道をふさいでいる。

答え

2

キリツ正しい生活を心がけよう。

答え

3

自分の将来についてシンケンに考える。

答え

4

ジュウジツした中学校生活を送る。

答え

5

アタえられたチャンスをしっかり生かす。

答え

えられた

6

友達との約束をやブってしまった。

答え

って

三、接尾語・接頭語

の中に例の言葉の 線部と同じ接頭語・接尾語が入るものを一つ選び、記号で答えなさい。

1 例 最優先

- ア、規模な工事
- イ、先端の技術
- ウ、一流のピアニスト
- エ、降下する飛行機

答え

2

例 単純化

- ア、映画 された物語
- イ、抽象 な言葉
- ウ、予想 の出来事
- エ、重要 した課題

答え

四、言葉の意味

次の 線部の意味に最もよくあてはまる言葉を一つ選び、記号で答えなさい。

1

「日本語は、和語、漢語、外来語を駆使することで表現を豊かにしてきた。」

- ア、たくさん使う
- イ、使い続ける
- ウ、慎重に使う
- エ、うまく使う

答え

2

「かぐや姫は、毎晩月を見ては嘆いているのです。」

- ア、悲しく思っている
- イ、心待ちにしている
- ウ、気をもんでいる
- エ、思い出にひたっている

答え

3

「ここからそう遠くないところに、小さな村がある。」

- ア、それなりに
- イ、それほど
- ウ、その通り
- エ、そこにあるように

答え

4

「父親が帰ってくるのはうれしかったが、土産（みやげ）が心もとなかった。」

- ア、心配だ
- イ、どうにもならない
- ウ、落ち着かない
- エ、心配しても無意味だ

答え

次の「」の意味に最もよくあてはまる言葉を一つ選び、記号で答えなさい。

5

「小声でひとりごとを言うこと」  
ア、ささやく  
イ、ひらめく  
ウ、つぶやく  
エ、ぐちをこぼす

答え

6

「声を立てず、にっこり笑うこと」  
ア、ほほえむ  
イ、苦笑いする  
ウ、高笑いする  
エ、はじらう

答え

7

「ことばを一つ一つ並べて記すこと」  
ア、覚え書き  
イ、箇条(かじょう)書き  
ウ、走り書き  
エ、寄せ書き

答え

8

次の文の( )に入る言葉として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

「多くの課題があるが、今日は一つに( )話し合いを進めよう。」  
ア、絞(しぼ)って  
イ、対して  
ウ、合わせて  
エ、もどして

答え

9

「道具は、それぞれの目的に( )使い分ける必要がある。」  
ア、反して  
イ、返って  
ウ、かわからず  
エ、応じて

答え

10

「これは努力の結果生まれた彼の( )の作品です。」  
ア、得心  
イ、良心  
ウ、会心  
エ、感心

答え

11

「もう明日まで、次の列車はないと聞いて、( )に暮れた。」  
ア、旅情  
イ、途方(とほう)  
ウ、不安  
エ、夕日

答え

12

「はるか遠い国のできごとを思いを( )。」  
ア、あずける  
イ、はせる  
ウ、かける  
エ、わたす

答え

次の言葉の使い方として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

13

「著しい(いちじるしい)」  
ア、彼女の著しい性格は、なかなか理解できない。  
イ、ブラスパンドの演奏は、春に比べてはるかに著しくなった。  
ウ、父は学生時代には、著しいほど読書したそうだ。  
エ、今年になってから、店の売り上げが著しく増加した。

答え

14

「他人行儀(たにんぎょうぎ)」  
ア、よく知らない友達同士だから、他人行儀を心がけたい。  
イ、兄の、私に対する態度は、いつもと違って他人行儀に感じられた。  
ウ、他人行儀をよくすることが、社会生活のマナーの一つである。  
エ、今日の話し合いは、他人行儀な雰囲気引き締まっていた。

答え

15

「我に返る(われにかえる)」  
ア、父にほほを打たれて、私はようやく我に返った。  
イ、なくしたと思っていた本が、我に返った。  
ウ、我に返ってから、もう一度やり直してみよう。  
エ、なつかしい思い出が、我に返ってくる。

答え

16

「口をそろえる」  
ア、母は、私が間違っていると、口をそろえて責めた。  
イ、金沢能楽美術館の来館者たちは、展示されている能面のすばらしさに感動し、口をそろえてほめた。  
ウ、ひな鳥たちは、親鳥が運ぶえさを待ちながら口をそろえていた。  
エ、あの人は話し合いに、いきなり口をそろえて割り込んできた。

答え

17

「目を見はる」  
ア、たくさんの人々の中から友人を探すために目を見はった。  
イ、人違いかもしれないと思い、何度も目を見はった。  
ウ、兄の言葉を聞き、ようやく目を見はった。  
エ、彼の上達ぶりに、皆が目を見はった。

答え

五、類義語、対義語、多義語

1 類義語の組み合わせとして適切でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、従順・素直
- イ、妥当・適当
- ウ、協調・協力
- エ、必然・自然

答え

2 類義語の組み合わせとして適切でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、つつましい・みすばらしい
- イ、いかめしい・ものものしい
- ウ、こそばゆい・くすぐったい
- エ、わがままな・身勝手な

答え

3 対義語の組み合わせとして適切でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、歓喜・悲哀
- イ、一般・特別
- ウ、安定・動揺
- エ、形式・名目

答え

4 「みそ汁の味をみる」と同じ意味で使われている「みる」はどれですか。一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、子どもの面倒をみる。
- イ、風呂の湯かげんをみる。
- ウ、相手の動きをみる。
- エ、外国の映画をみる。

答え

六、漢語、和語、古語、敬語、接続語、擬態語等

1 ほぼ同じ意味を持つ漢語と和語の組み合わせとして、適切でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、職人・匠（たくみ）
- イ、単調・ひとりきり
- ウ、口実・いいわけ
- エ、常識・あたりまえ

答え

2 ほぼ同じ意味を持つ古語と現代語の組み合わせとして、適切でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、なさけなし・はずかしい
- イ、をかし・すばらしい
- ウ、うつくし・かわいい
- エ、よろづ・いろいろ

答え



3

「諸行（ ）  
ア、無情 イ、夢状 ウ、無常 エ、無上

答え

4

「起承（ ）  
ア、転回 イ、転任 ウ、転結 エ、転換

答え

5

次の「 」の意味を表す言葉として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。  
「詩歌や文章の字句を何度も練り直すこと。」  
ア、添削（てんさく） イ、推敲（すいこう）  
ウ、鍛錬（たんれん） エ、点検（てんけん）

答え

6

次の言葉の内容に最も合致している文を一つ選び、記号で答えなさい。  
「切磋琢磨（せつさたくま）」  
ア、その包丁はよく切れるから気をつけなければいけない。  
イ、夕焼けの美しさに、思わず見とれてしまった。  
ウ、自分自身を見つめることで、自らを高めていくことができる。  
エ、彼らは、互いにとてもよいライバルである。

答え

7

次の言葉の内容に最も合致している文を一つ選び、記号で答えなさい。  
「座右の銘（ざゆうのめい）」  
ア、列車の窓側の席から見える眺めが、旅の思い出になった。  
イ、この歌が好きで何度も聞いているうちに覚えてしまった。  
ウ、私は「継続は力なり」という言葉を常に心に抱いている。  
エ、長時間働いたので、そろそろ和菓子を食べてひと休みしよう。

答え

8

次の「 」の意味を表す故事成語として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。  
「危険を冒さなければ望みのものは手に入れられない。」  
ア、先んずれば人を制す。  
イ、虎穴（こけつ）に入らずんば虎子（こじ）を得ず。  
ウ、過ぎたるは及ばざるがごとし。  
エ、歳月人を待たず。

答え

6 破	5 与	4 充実	3 真剣	2 規律	1 巨大	二 漢字書き	7 つ	6 へ	5 なご	4 じぎ	3 かせん	2 なつとく	1 くふう	一 漢字読み	1 p
				ア	イ	ア	エ	四 言葉意味			ア	イ	三 接尾語等		2 p
							イ	イ	ウ	エ	ア	イ	ア	ウ	3 p
							エ	イ	ア	イ	エ				4 p
					ア	イ	六 漢語等		イ	エ	ア	エ	五 類義語等		5 p
					エ	イ	七 慣用句等		ウ	ア	ウ	ア			6 p
								イ	ウ	エ	イ	ウ	ウ		7 p